

G7ベルリン保健大臣会合について

開催日、場所及び出席者

【開催日】平成27年10月8～9日 【場所】ドイツ(ベルリン)

【出席者】塩崎厚生労働大臣、山本大臣官房審議官、大鶴国際課長

報告

【プログラム内容】

(1) 薬剤耐性 (Antimicrobial Resistance: AMR)

- ① ワンヘルス・アプローチ及びベストプラクティス
- ② 経済的観点からの薬物耐性問題及び新療法開発へのインセンティブ

(2) エボラ

- ① エボラの教訓と国際保健規則 (International Health Regulations: IHR)
- ② エボラの教訓と国際的な健康危機管理

【我が国からの発言】

(1) AMR

我が国で行われている創薬促進検討委員会、AMED等による研究、グローバルヘルス技術振興基金(GHIT)等を紹介。我が国もAMRの課題解決に向けて、WHO、FAO、OIE等の国際機関やG7各国と連携しながら貢献していく旨、述べた。

(2) エボラ

我が国が感染症対応能力強化、保健システム強化のために行っているベトナム等でのプロジェクトを紹介。IHR履行を支援していくために、Global Health Security Agenda (GHSA)に各国が積極的に取組み、その進捗状況を共有していくことの重要性を述べた。また、各国の保健システム強化及びグローバルヘルスガバナンスの強化への対応には、国際機関、市民社会、民間企業等を含むフレキシブルなアライアンスで対応することが望ましく、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを基盤として位置づけ、推進していくべき考えを示した。